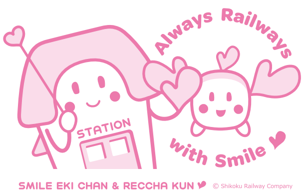
土讃線:塩入駅～黒川駅間　©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV

JR NEWS

JR四国

2023年 7 月号
No.429



ズームアップ 鉄道沿線の風景

～アンパンマン列車とひまわり　キラキラ～

2000年10月14日、特急列車「南風」号としてデビューしたアンパンマン列車。

現在JR四国では、「土讃線あかい・きいろいアンパンマン列車」をはじめ、「予讃線アンパンマン列車」「ゆうゆうアンパンマンカー」「アンパンマントロッコ」といった多様なアンパンマン列車を運転しています。

写真はひまわり畑を駆け抜ける「土讃線きいろいアンパンマン列車」。元気いっぱいのアンパンマンとなかまたちが描かれたきいろい車両が、太陽の光を浴びるひまわりとならんで「キラキラ」と輝いています。

2023年6月14日にはついに、アンパンマン列車のご利用人数が100万人を超えました!

みんなに愛されるアンパンマン列車。これからもご利用のお客様に、そして沿線の皆様に、笑顔をお届けして参ります。

JR四国ソーシャルメディア公式アカウント
ソーシャルメディア

おトクなきっぷや、主な駅の情報など
JR四国ツアー
WARP NAVI
JR四国ツアー　検索

JR四国列車運行情報
https://www.jr-shikoku.co.jp/info/select/index.html

列車の発着時刻、運賃・料金、鉄道企画商品に関するお問い合わせ
JR四国電話案内センター　☎0570-00-4592（しこくに）
受付時間(年中無休) 8:00～19:00
通話料がかかります。
(お客様がお使いの電話回線の種類によってはご利用いただけない場合があります。)

e5489 JR西日本ネット予約
インターネットで対象エリア内の新幹線・特急列車などの指定席が予約できるサービスです。 詳しくは e5489 検索

インフォメーション Information

7月限定!徳島駅クレメントプラザに、ソフトクリーム専門店をオープン★

JR四国グループの新しい取り組みとして、四国のご当地ソフトクリームが味わえる専門店を期間限定で徳島駅クレメントプラザ1階にてオープンいたします。店舗名称は「Four Flavors Soft」(読み:フォー フレーバーズ ソフト)とし、四国4県の食材を取り入れたオリジナルメニューをご用意しました。公式インスタグラムにて店舗の情報を発信しておりますので、是非チェックしてみて下さい。この機会にご家族やご友人、毎日頑張る自分へのご褒美に、ここでしか味わえないソフトクリームをご賞味ください!

■営業期間:7月1日(土)～7月31日(月)(無休)
■営業時間:10:00～20:00
■場所:徳島駅クレメントプラザ1階
■インスタグラム:@ffs_shikoku

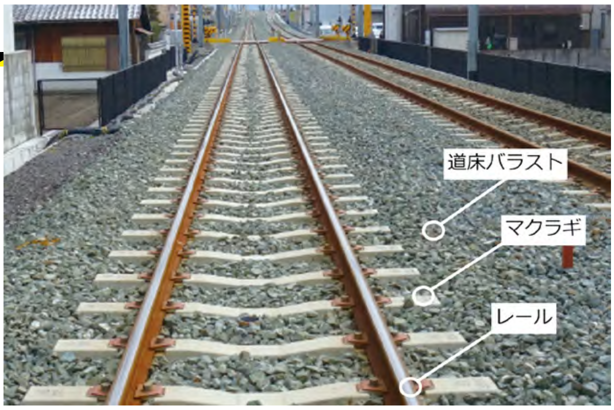
Four Flavors Soft
@FFS_SHIKOKU

お客様に安全に安心してご利用いただくために

■線路の維持管理（保線）の仕事とは？

線路はレール・マクラギ・道床バラスト（砕石）などの部材で構成されており、日々、列車が高速で繰り返し走行することにより、「線路のゆがみ」や「部材のいたみ」が生じます。線路のゆがみを放置しておくと、列車走行時の揺れが大きくなり乗り心地が悪化しますし、部材のいたみを放置しておくと、レールが折れるなどの設備故障に繋がりかねません。そのようなことにならないよう、保線区員（※）は定期的に線路の巡回や検査を行い、その結果を見ながら適切な保守を実施しています。

また、台風や大雨等により列車走行が危険と判断される場合は列車を止めて線路を点検し、列車が安全な状態で走行できることを確認した上で列車の運行を再開させています。　※保線区とは、線路を保守・管理する現業機関です。



■保線の仕事で活躍する保守用車

▶マルチプルタイタンパ

通称「マルタイ」や「MTT」と呼ばれるこの保守用機械は、線路のゆがみを直す作業において用いられます。車両中間部に取り付けられた装置で、レールを掴み上げ、専用のツールでマクラギ下のバラストをつき固めながら、上下方向や左右方向に線路を整正していきます。

マルタイを操縦するオペレータは、施工区間を入念に調査し、作業に支障するものがないかチェックし、線路を具体的にどのように直すかイメージを固めます。夜間の作業時は基本的な操作に加えて、線路の仕上がり状態をより良いものにするための微妙な調整や判断が必要であり、高い技術力が求められます。

マルチプルタイタンパ（マルタイ）

操縦するオペレータ

▶レール削正車

列車の走行により車輪とレールの接触が繰り返されることで、レールの表面に小さな傷が発生しこれを放置すると、やがては内部の深刻な傷に成長し交換が必要になってしまいます。予防として早期にレール表面を削っておくことで、長寿命化を図ることができます。

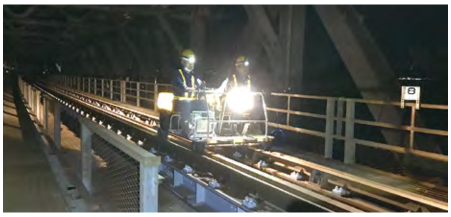
また、曲線区間においてレール表面が線路長手方向に波状に摩耗する現象が発生することがあります。このような箇所では列車走行時に大きな騒音が発生してしまうため、レール表面を削って平らな形状に戻す作業が必要となります。

レール削正車は文字通りレール表面を削ることができる専用の保守用車で、JR四国では1996年度に初めて導入しましたが、経年による老朽取替に合わせて、より高性能なタイプの車両を2019年度に導入しました。

レール削正車

▶軌道自動自転車

レールから簡単に取り外すことができる保守用車で、アルミカートやレールスクーター、軌道用カートなど様々な名称がありますが、JR四国では「レールスター」と呼んでいます。機動性の高さが最大の特徴で、車体重量が100kg前後のものが多く、3人で持ち上げることが可能です。大雨や台風、地震発生時等、災害の恐れがある時は列車を止めて、保線・電気係員がレールスターに乗り、倒木や土砂流入などが発生していないか、安全に列車を通すことができるか点検します。


軌道自動自転車（レールスター）

［担当者の想い］

土讃線の線路の保守管理を担当している山中です。マルタイは扱いを誤ると線路を逆に悪くするため、入念な下見・点検を心掛けています。今後も技術力の向上に努めてまいります。

山間部に位置する阿波池田に勤務している大角です。台風時にはレールスターを用いて、周囲に目を配り、点検後の列車運行に支障がないよう、確実な点検を行うように心掛けています。

予讃線でレール削正を担当している樋田です。削正作業はレール表面の小さなキズや疲労層を取り除きレールを長持ちさせる重要な仕事です。これからもより良い線路の維持に努めます。

アンパンマン列車ご利用100万人達成!

現在、四国各地を走っているアンパンマン列車は、2000年のデビュー以降、こどもたちの夢をのせて走り続け、本年ご利用100万人を達成しました。

今月のJR四国ニュースでは、ご利用100万人達成を記念し、これまでのアンパンマン列車の歩みを振り返るとともに、現在活躍中のアンパンマン列車をご紹介します。

アンパンマン列車の歴史

アンパンマン列車の始まりは、2000年10月14日。アンパンマンの作者やなせたかし先生が高知県出身という縁もあり、高知～岡山間の特急「南風」で土讃線アンパンマン列車の運転を開始しました。2001年10月には、予讃線にもアンパンマン列車の運転を拡大し、土讃線アンパンマン列車と同じ2000系特急形気動車を使用して、岡山・高松～松山、松山～宇和島間で運転を開始しました。

また、2002年からは外観だけでなく車内デザインにもアンパンマンの世界観を表現した車両が登場します。キロハ186形式特急形気動車を改装した「ゆうゆうアンパンマンカー」は、車内にこどもたちが遊べる空間(プレイルーム)を設けた車両で、2002年10月高徳線・徳島線で運転を開始しました。現在、予讃線、土讃線アンパンマン列車の人気設備の1つとなっている「アンパンマンシート」が導入されたのは2005年。シートには、さまざまなポーズのアンパンマンが描かれました。2006年10月には、20両目のアンパンマン列車となる「瀬戸大橋アンパンマントロッコ」が登場。窓がなく瀬戸内海の爽やかな風を感じることのできるトロッコ車両を連結した列車は、多くのお客様から好評をいただいております。

アンパンマン列車デビューから20周年となった2020年には、新しい土讃線アンパンマン列車が新型車両2700系特急形気動車で登場。高知～岡山間で1日2往復(4本)から始まったアンパンマン列車は、2023年7月現在1日最大35本まで運行本数を増やしました。

▲アンパンマン列車デビュー出発式の様子(2000年)

もっと詳しく知りたい方は…
アンパンマン列車の歴史 検索

年	出来事	年	出来事
2000	アンパンマン列車デビュー(土讃線アンパンマン列車登場)	2015	瀬戸大橋アンパンマントロッコ リニューアル
2001	予讃線アンパンマン列車 登場	2016	予讃線8000系アンパンマン列車 登場
2002	ゆうゆうアンパンマンカー 登場	2017	高知駅アンパンマン列車ひろば 誕生
2005	予讃線にアンパンマンシートを導入	2017	ゆうゆうアンパンマンカー リニューアル
2006	瀬戸大橋アンパンマントロッコ 登場	2019	予讃線宇和海アンパンマン列車 リニューアル
2008	土讃線にアンパンマンシートを導入	2020	土讃線あかい・きいろいアンパンマン列車　登場
2009	土讃線アンパンマン列車(オレンジ・グリーン)登場	2023	アンパンマン列車ご利用100万人達成!

現在のアンパンマン列車

現在、JR四国では5種類(21両)のアンパンマン列車を運行しています。

◇予讃線8000系アンパンマン列車

岡山・高松～松山間を走る列車。1号車には、虹をイメージしたカラフルな指定席「アンパンマンシート(16席限定)」があります。

◇予讃線宇和海アンパンマン列車

松山～宇和島間を走るアンパンマンとばいきんまんの大きな顔が描かれた列車です。

◇土讃線あかい・きいろいアンパンマン列車

岡山～高知間を走るニコニコ笑顔いっぱいの「あかいアンパンマン列車」と、キラキラ元気いっぱいの「きいろいアンパンマン列車」には、アンパンマンのなかまたちと一緒に旅をしているような気分になれる「アンパンマンシート(24席限定)」があります。

◇瀬戸大橋アンパンマントロッコ

岡山～琴平・高松間を走るトロッコ列車。爽やかな風を浴びながら瀬戸内海の多島美を楽しむことのできる「トロッコ車両」とアンパンマンとばいきんまんが描かれたソファの座席が並ぶ「牽引車」の2両編成です。

◇ゆうゆうアンパンマンカー

高松→徳島、徳島～阿波池田間の一部特急列車に連結して運転しています。列車の中で元気いっぱい遊びたい!という子供たちの想いを実現した車両で、車内には靴をぬいで遊べる「プレイルーム」があります。

▲土讃線きいろいアンパンマン列車

▲予讃線 8000 系アンパンマン列車

▲瀬戸大橋アンパンマントロッコ

詳しくは… アンパンマン列車 検索

©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV

沿線通学生寄稿コーナー
第3回

My Station

MY HOMETOWN　EDAGAWA

伊野商業高等学校

最寄駅「枝川駅」

※このコーナーは四国の通学生のみなさんに鉄道に親しみをもっていただこうと企画しました。年４回掲載します。

門脇　有柚 （2年）

1年前の高校生初登校日。初めての汽車通学に「乗り遅れないかな」「ちゃんと目的の駅で降りれるかな」とドキドキ感もありましたが、中学生の頃からあこがれていた汽車通学にワクワクする期待もありました。

最初は見慣れない風景、同じ伊野商業高校の生徒がたくさん乗ってきて、汽車の中でずっとキョロキョロとしていました。慣れてくると、毎朝乗っているので「同じクラスの人だ」「学校で見たことある人だ」という人が増え、そのうち顔を覚えて、「何両目に乗りゆうよね?」と話しかけ、仲良くなるきっかけになりました。

また、校舎にいると聞こえてくる踏切や汽笛の音、線路を走っていく汽車の音にどこかに行きたくなることがあります。汽車通学を始めてから2年目。私の高校生活は、鉄道を常に身近で感じながら、朝早く汽車で友達と会い、たくさんおしゃべりできるという楽しみから1日が始まります。

田野岡　瑠奈 （2年）

私が通う伊野商業高校のツーリズムコースでは、JR四国さんと一緒に観光列車「志国土佐　時代の夜明けのものがたり」に乗車して、列車内で観光ガイドを行っています。この活動は私が伊野商業高校を受験した理由の一つでもあります。地元の高校生が方言を交えて行うガイドは大人気ということを知り、私も地域の方と交流したり、高知の魅力を発信したいと思ったのがきっかけでした。また、観光列車のガイド以外にも高知城ガイドや販売実習など様々な活動を行っています。この4月からは、念願のツーリズムコースに所属し、既に様々な活動を始めました。私も今までの先輩方のように、おもてなしの心を持ち、今後はさらに様々な活動で頑張っていけたらと考えています。汽車通学を始めて1年。友達と一緒に汽車に揺られながらの通学が私にとって大切な時間となっています。次は、私が、観光列車のガイドでお客さんにとって忘れられない記憶に残る最高の時間とできるように、ツーリズムコースの一員として頑張っていきます。

田村　唯奈 （3年）

伊野商業高校は、2年次よりビジネスコース・ツーリズムコース・ICTコース・デザインコースの4つのコースを選択し、各自の興味関心や進路目標に合わせて学習しています。その中でも、私が所属しているツーリズムコースでは、「おもてなし精神」と「実践力」を柱に、様々な活動を通し、校内外の多くの方と関わりながらコミュニケーション力などの即戦力を身につけています。

そんな学びの一環として、先輩たちが活動してきた観光列車「志国土佐　時代の夜明けのものがたり」でのガイドを3年となった私が担当することになりました。より多くの方々に土佐の雄大な自然と土佐流のおもてなしを満喫し、高知の魅力を知っていただきたいと思っています。そして私自身は、この貴重な体験を生かして、これまで学んできた「おもてなし精神」を改めて考え、仲間と協力してこの活動に取組み、自分の成長、将来に繋げていきたいと思います。

伊野商業高等学校　校長

山岡　晶　　校長先生からひと言

本校は、「悔ゆるなき今日を励めば」を校是に、県立唯一の商業高校として、地域と連携した商業教育を実践しています。昨年度は、高知県の産業教育生徒研究発表会で観光列車に関する取組みを発表し、最優秀にあたる賞をいただきました。これからも、特色ある取組みを推進し商業教育の充実を図ります。

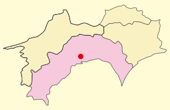
大阪営業部副長兼ワープ梅田支店長

塩田　よしかず　　先輩からのメッセージ

平成2年度卒業生（26期）です。大阪では四国向けの旅行商品を造成する旅行会社のサポートやワープ梅田支店で接客を行っています。県商(※)といえば時代の夜明けのものがたり。関西のお客様からも悔ゆるなき今日を励む皆様の活躍を伺う機会が多く、それは四国を離れて働く私にとって大きな励みになっています。誇りありわが伊野商高。

※伊野商業高等学校の愛称

伊野商業高等学校



■〒781-2110
高知県吾川郡いの町332の1
■生徒数：305人
■開設年度：1963年